



第46号

# ぽっかぽか

函南病院新豊部



## 久会50周年を迎えて



初代の理事長は父の久正男、  
 函南病院院長は国立高知病院の  
 副院長を務めていた角南敏孫先  
 生で、理事長として私は2代目、  
 院長としては2代目の吉田貢先  
 生に次いで3代目ということに  
 なります。組織としては平成15  
 年3月に特定医療法人となった  
 ことが大きく、個人の財産では  
 なく地域の財産としての病院で  
 あることを組織の上でも明確化

しています。  
 いうことになりました。一口に50  
 年と言いますが半世紀の間には  
 いろんな移り変わりがあります。  
 スタート時は函南病院だけが医  
 療法人久会で久病院は個人病院  
 のままでしたが、昭和56年(1  
 981年)には久病院も医療法  
 人久会に編入され今日に至って

函南病院の開院に  
 向けて医療法人久会  
 がスタートしたのは  
 昭和42年(1967  
 年)。病院のオーブ  
 ンはこの年の4月で  
 すが法人の設立は前  
 年度なので1967  
 年4月が第2期と  
 いうことになり20  
 15年4月の今期  
 はちょうど第50期と

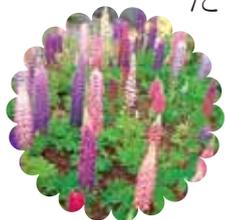


しました。  
 もちろんこの間、医療を取り  
 巻く環境も大きく変化しました。  
 設立当初より消化器を中心とし  
 た診療で基幹病院に伍する実績  
 をあげてきましたが、急性期医  
 療の集約化の中で中小病院とし  
 て変革を迫られる部分もあり、  
 在宅医療も含めた緩和ケアやI  
 VR治療、創傷ケアなど小回り  
 の利く良さを生かした新しい柱  
 を立てるとともに、整形外科、  
 麻酔科、放射線科も含めて「普  
 通の病気をきちんと治療する」  
 地域に根差した病院であること  
 を目指しています。病院として  
 の高い技術力を持ちながら開業  
 医のようなホスピタリティも  
 併せ持ち、診断から終末期医療  
 まで「何でもできる開業医」で  
 あることが目標です。

ここ数年で勤続  
 40年以上  
 といった  
 初期の頃  
 を知る職  
 員が退職  
 を迎え、  
 当然なが  
 ら職員の構成も変わってきてい  
 ます。しかし、初代から引き継  
 がれてきた「人を大切にしよう！」という文化は今後も変わ  
 らず持ち続けたいと思います。

ある高知県、そして都会志向、  
 大病院志向の研修医や看護師の  
 流れの中で我々を取り巻く環境  
 は決して楽ではありません。し  
 かし、危機感こそがチャンスで  
 あるとも思っています。50周年  
 とは言っても結局は1年1年の  
 積み重ねです。今の1年を少し  
 ずつでも前に進めることが次の  
 10年につながるし100周年に  
 もつながってゆくのだと思いま  
 す。今年が職員旅行の年でもあ  
 りますが、リフレッシュ  
 の後はこの1年のた  
 めに全員で汗を流  
 してゆきましょう。

院長 久直史



- 病院理念
1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
  2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
  3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。
- 病院基本方針
1. 我々は病状 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
  2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
  3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
  4. 我々は個人の尊重を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。



### 開院50周年記念旅行



50周年記念職員旅行で2泊3日の北海道旅行に行ってきました。梅雨時期でしたが、北海道は3日間とも良い天気で暑い位でした。

旭山動物園・熊牧場の動物の仕草の可愛らしさにテンションが上がりました。

函館の夜景100万ドルの夜景と言われるだけあって人・人・人・滞在時間30分と言う決まりがあり、いい場所で見るとに必死でハートの文字を探す余裕もなく終わりました。北海道の広さ、自然に癒され少しハードスケジュールでしたが、温泉に入って疲れもとれました。

部所の違う人とも話が出来、いい親睦になったと思います。残念なのが美味しいものをいっぱい食べられなかったこと!!

またあれば参加したいと思います。  
外来 川村



### 西2階病棟 ちぎり絵

いつも詰所前の壁飾りを紹介していましたが今回は廊下に展示していた2枚のちぎり絵を紹介します。

伊與木光代様は60歳からちぎり絵を始めて早14年、そのきっかけは「押し花をやりたかったけど偶然ちぎり絵の先生と出逢って始めた」と話されていました。

「夜桜」というこの2枚の作品には「人よりあまり上手でない為、お手本を見ながら一生懸命やった」と言われるその情景がその一枚一枚に感じられます。まるで絵画

の様でもあり、夜空に舞う繊細な桜の中に力強さを感じずにはいられませんでした。

石元 半田





# 新任Dr紹介



タケ カワ キミ コ  
**武川 仁子 先生**

**専門** 麻酔全般  
ペインクリニック

**趣味** ドライブ



抱負

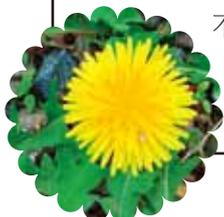
高齢者の手術麻酔に前向きに取り組みたいです。  
ペインクリニックもよろしくお願いします。

## 高知県総合防災訓練に参加して

H27年6月7日(日) 県内一斉(主に中央部と西部)に防災訓練が実施されました。主催は高知県防災会議で、目的は、「災害対策基本法に基づき大規模地震、豪雨など実質的な災害を設定し、県市町村や各防災関係機関による実質的な応急対策とそれぞれの連携した訓練を実施することにより、総合的な防災体制を確立する」としており、内容として風水害と南海トラフ地震を想定し、参加機関は国、県、市町村、警察、消防、自衛隊、企業団体(病院・企業・他)などでした。当院は、高知新港のメイン会場でDMAT1隊(5名)と救護班として3名、患者役として2名が参加しました。知事の挨拶で訓練開始となりました。それぞれの業種によって配置設定がなされており、私たちは救護所での待機です。資機材を準備し搬送されてくる患者を待っていました。しかし規模が大きいたくさんの職種が入り乱れて何処で何をしているかが解りづらく、患者の搬入状況も確認する方法が無かったりと様々な問題が発生、でも実際の現場も混乱の中で展開されると思うのでそれはそれで訓練の一環として捉えることとしました。訓練の中では、消火活動やヘリコプターでの離発着、はしご車での救出などそれぞれが専門分野での役割を確認しながら実施していたのではないかと思います。多人数で他職種が関わる中、医療者としての役割を再確認し、連携の重要性や情報共有の大切さを尚一層感じる事が出来た、この経験を院内での訓練に少しでも生かせたらと思います。



またDMATの広域搬送訓練の一環として航空自衛隊のC-130に機乗する事が出来ました。機体は思ったより大きく、機内は通常の飛行機の機内と全く違い、担架を固定できる棒が数本あり、両サイドに簡易的な座席があるだけで後は空間のみ、暗い、窓がほとんどない、うるさい、足下が不安定など良い条件ではないので、実際搬送となると機内での会話や処置などは困難を生じると思いました。しかし滅多に出来ない体験が出来て本当に良かったです。 外来師長 田村





# 図南病院 フットケア外来の開設

当院では、平成27年4月よりフットケア外来を開設致しました。  
糖尿病足病変の方や足の変形、痛みで悩む患者様の治療・ケアをさせていただきます。



## フットケア外来って？

フットケア外来は足のトラブルに悩む糖尿病の方や足の変形でお困りの方、創傷治療後の患者様を対象とした外来です。

医師・看護師・理学療法士など足専門のスタッフが患者様の足に神経障害・血流障害や感覚異常がないかを診て行きます。検査結果をもとに療養指導計画を立て、足トラブルの原因究明・予防に努めて行きます。必要に応じ足浴・爪切り・日常生活指導などスタッフが行います。爪の変形、タコ・魚の目で悩んでいる方もご相談下さい。

## スタッフ紹介



【院長】  
久直史



【外科医】  
津野 憲雄



【内科医】  
谷本 憲保



左：【外 来】中村江利子  
右：【西2階】田内 美樹（フットケア指導士）

次も来たいなあ…と思ってもらえるようなケアを心掛けています。  
足のトラブルに悩んでいる方、ご相談下さい。



【理学療法士】公文 健二

3DOという機械で身体バランスや歩行などをデータ分析して姿勢を直したり、適した歩き方を指導しています。靴や装具が足に合っているかのチェックも行っています。



【フットケア外来】 毎週木曜日 13:30～15:30

**\*完全予約制** 予約は…外来でご相談下さい



# ◆◆ 季節を感じて… ◆◆

## — 作品紹介 —



リハビリテーション部 作業療法室

毎年、夏発行号の原稿は6月に作成しますので、今も例年通り梅雨です。

先日、神戸からの帰宅途中、JR土讃線が大雨で「あと20分で高知駅」というところで、止まってしまいました。家では子どもが熱発で寝込んでいるとのこと。

振り替え輸送のバスに乗り換え、約2時間遅れで到着。心配と疲労でクタクタです。

山の中で過ごす時間、お花や紅葉などを楽しめる環境なら良かったんですけど…

それに母&主婦なので…いつでも、どこでも「家」を考えますよねえ。

病気しても、ケガしても、主婦は「家事」という、たくさんの仕事を抱えていますもの。

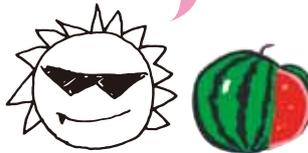
しかし、最近は、『主夫』『イクメン』という存在も…

定年退職後の男性には『男ばかりの料理教室』も人気らしいです。頼りにしたいですね。

山崎



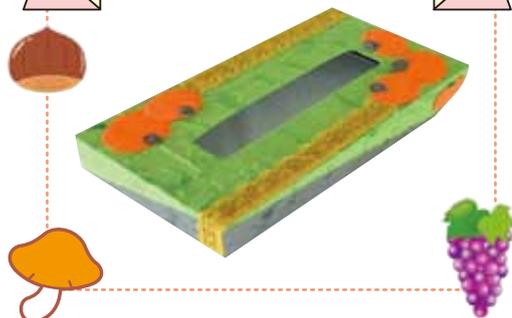
We the fine color



私は、さんま派



ウコ ティッシュボックス



主婦業復帰のため、食器洗い練習中  
何もつかまらず立ち仕事、大変です  
次は、お料理



# 七夕祭り



7月3日 緩和ケア病棟ラウンジで七夕祭りを  
行いました。

午前中にメインイベントには欠かせないあの道具をシステム部が「今から組もうか」とささっと設置。さあそれは何でしょう？そして患者様やそのご家族が書かれた短冊を今朝調達したばかりの新緑まばゆい笹に付け替えます。沢山の短冊を下げた笹の先が優しく揺れ始めました。スタッフ達の心も七夕祭りが素敵なひと時にできるかなと揺れていました。

さあその時がやってきました。スタッフもしっとり浴衣に着替え、七夕祭りの始まりです。今年は患者様やスタッフのお孫さんや子どもさんの参加が多く、あ

の道具の周りが一気に賑やかになりました。「さあ流すで〜」

そうその道具とは**流し素麺の竹杵**！！先生が流す素麺が竹杵を水の流れに乗りサ〜と…いったい何本お箸に掛かったかな？真っ赤なさくらんぼも沢山



流れました。水の勢いが良くコーナーを曲がれず水漏れのアクシデントもありましたが、ワイワイ、ガヤガヤ時間は過ぎていきました。参加を躊躇されていた患者様もベッドで参加されたり、自室でピアノやシンセサイザーの演奏に合わせて歌われたり、いつもの白衣とは違うスタッフと写真を撮ったり色んな時が過ぎ笑顔がありました。彦星様と織姫様の様に一年に一回の出会いの場である流し素麺、さて来年はどんな出会いがあるのでしょうか。



緩和ケア病棟 半田

## 井上さんちの金魚



**丹ちょう**  
病弱で手がかります。



**らんちゅう**  
生後3ヶ月



**鯉**  
いつも2匹寄り添っています。

Uchinoko Jiman



## 溝渕さんちのわんこ

**たろう** (2003年2月生まれ12歳オス)

お兄ちゃんの犬たろうはとっても優しい子で道行く犬や小鳥たちにも自分のエサを分けてあげる(?) おひとよしです。高齢ですが、散歩が大好きで朝・夕2回高校生の子と1時間ランニングしてきます。

**さくら** (2003年2月生まれ12歳メス)

妹のさくらは飼い主に似て食べる事が好きなぽっちゃんりさんです(特にかくあんが大好きです)。たろうと正反対で散歩は大嫌いで、嫌になると地べたに座りこんで動きません。でも「さくらお家帰ろうか?」というときさっと起き上がりおしりフリフリ大急ぎで帰ります。



お散歩にかがて...

お散歩行こうよ

たろうと

さくらだよ





小坂さん

中谷さん

## 新人看護師 一年を振り返って



介護病棟看護師 小坂

昨年4月に函南病院に入社し、早くも2年目へと突入しました。本当に不安で仕事が覚えられるだろうか、配属部署の方とやっていけるのかと思い悩みながらの日々でした。

初めは何かから始めれば良いのかわからない状態でした。先輩の業務と一緒にいらせてもらい、バイタル測定、全身観察、口腔ケア、吸引などを学んでいき、1週間後から1人でコーナーを受け持つことになりました。20人くらいの患者様のバイタル測定から始まり、ケアを午前中に終わらせるようにしていくのが通常の流れですが、それができず、自分が情けなくため息が出る事もありました。それに加え、熱発者がでると点滴を開始する事もあり、ルートをとるとなると更に焦りました。しかし、こういう時は先輩が気にかけてくれて助けられました。ありがたいと思うと同時に、早く仕事を覚えて先輩の迷惑にならないようになりたい、自分も先輩を助けられるようにという気持ちに駆られました。



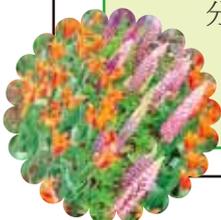
あれから1年が過ぎ、今は日勤業務以外に遅出や夜勤にも入っています。自分で訴える事ができない患者様が多い中、すべての業務に責任があり、急変、熱発、嘔吐など身体の変化に気付かなくてはいけなく、命を預かっているという仕事の重要性、重みを感じています。気づく

ためにはまず、普段の状態の患者様をよく観察していないといけないし、日々勉強し知識と技術を深めておかないといけないと感じています。まだまだ先輩方の経験・知識には及ばず、学ばなければいけないことがたくさんあります。失敗も多く落ち込むことも多々ありますがプリセプター、先輩の支えもあり、頑張れています。先輩方のように、患者様の少しの変化にも気づき、そして対応できるよう勉強し努力していきたいです。



### プリセプター 中谷看護師より

小坂さんはとても真面目で、一生懸命に仕事を覚えようと必死に頑張っていました。患者様にもとても優しく、そんな小坂さんを見て、自分自身も初心に戻り、患者様への対応やケアなど見直すことができた様に思います。これからも患者様から信頼される、笑顔が素敵な看護師になってください。





開院記念日



節分



栄養部



ひなまつり



こどもの日



七夕

図南病院の給食では、季節ごとに旬の食材を多く取り入れた食事を提供しています。  
今回は夏が旬の野菜、とうもろこしの人気レシピをご紹介します。

材料：3合分

- 米……………3合
- 生のとうもろこし…1本
- 塩……………小さじ1
- お好みで酒……………大さじ1

コーンライス

- ①とうもろこしは洗ってから包丁で実を削ぐ
- ②米をといでおく
- ③炊飯器に米ととうもろこし、塩・酒を入れて、目もりどりに水を入れて炊く(その時に芯も入れると香りが出ておいしくなります)
- ④炊きあがったらよく混ぜる(ご家庭ではバターを入れてもおいしいです)

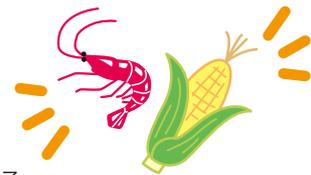


材料：1人分

- 生のとうもろこし…80g
- (生)むきえび……………60g
- すりみ……………20g
- 玉ねぎ……………30g
- 卵白……………10g
- 卵黄……………5g
- 片栗粉……………5g
- 天ぷら油……………適量
- ししとう……………10g
- すだち……………20g

海老のもろこし揚げ

- ①とうもろこしは実を削ぐ
- ②玉ねぎをみじん切りで水にさらす
- ③えびを細かくたたく
- ④すりみに卵黄と②、③を加えて混ぜる
- ⑤5個に分けて丸めて表面にうすく片栗粉をまぶして、卵白にくぐらせてからとうもろこしをくっつける
- ⑥160℃の油で焦がさずじっくり揚げる
- ⑦器に盛りつけてすだちをかざる



発行 特定医療法人久会  
図南病院  
編集 図南病院新聞部  
編集長 久直史  
高知市知寄町一五一一五  
電話 〇八八八八二二二六



とうもろこしの甘さがひきたつ献立です。ぜひご家庭でも作ってみて下さい。

栄養部 溝淵

